

## 決 議

農業農村を取り巻く状況は、過疎化、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃が進行し、併せて用水管理を含めた営農全般における農村協働力の脆弱化など、安全な食と健全な農業、美しい農村の維持継承への影響が懸念されている。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が不可欠である。加えて、農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

このため、国においては、土地改良法を改正し、担い手への農地の集積・集約の加速化に向け、農地中間管理機構と連携した新たな基盤整備事業を創設するとともに、防災・減災対策の強化や事業実施手続きの簡素化などの事業制度を整え、農業競争力の強化や国土強靱化といった政策課題に取り組むこととしている。

また、県においては「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」に基づき、国の施策を積極的に活用しつつ、我が国の食料供給基地として国民への食料の安定供給に不可欠な役割を継続的に果たすことが重要としている。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は、鹿児島県の農業・農村の持続的な発展を目指して、これまで培ってきた経験と技術を活用し、農業農村整備事業を強力に推進するため、水土里ネット関係者の総力を結集し、左記事項の実現を、第六十回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 担い手への農地集積・集約の加速化に向けた農地の大区画化・汎用化の推進
- 一 食料供給基盤の強化を図るため畑地かんがい施設整備の積極的な推進
- 一 老朽化した農業水利施設の長寿命化や耐震化等の防災・減災対策の推進
- 一 中山間地域の有する多面的機能の維持・増進のための総合的振興の推進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的な推進
- 一 土地改良区の運営基盤強化と管理体制の充実にに向けた取り組みへの支援

右決議する。

平成三十年三月二十日

水土里ネット鹿児島（鹿児島県土地改良事業団体連合会）

第六十回通常総会